

令和7年度「村政懇談会」の主な要望事項と説明

村では、毎年、各地域の要望や意見を広く行政施策に反映させるため、村政懇談会を実施しています。今年度は、昨年10月27日から11月14日までの間、村内9地区で懇談会を開催しました。

各地区からは、村政に対する様々な要望や意見等が寄せられ、その検討結果については各自治会長・農事組合長にお知らせしていますが、主な内容について掲載します。

○各地区の共通事項

（要望事項）

シカ・カラス・タンチョウ・クマ等による被害防止対策について

（検討結果）担当：産業振興課

野生鳥獣による農業や生活環境等への被害防止対策については、猟友会や鳥獣被害対策協議会をはじめ、国及び道などと連携しながら継続して取り組んでいます。

熊対策については、猟友会や鳥獣被害対策協議会と連携しながら箱ワナ等による被害対策に努めておりますが、近年、全国的に熊の出没や被害が相次いで確認されております。

本村でも、捕獲による被害対策をはじめ、IP告知や出没看板の設置などで注意を呼び掛けるなどの取組みを推進していきます。

また、緊急銃猟を実施するための体制整備も進めていきます。

（要望事項）

道路沿線の支障木の伐採や枝払いについて

（検討結果）担当：建設課

道路沿いの通行に支障が生じている雑木や枝等については、交通上の安全を確保するため、道路を管理する国や道と連携して必要な都度に伐採や枝払いに努めています。

村内全域にわたって対応が必要であり、すべての箇所をすぐに対処することは難しい状況で

すが、今後も年次計画的に進めていきます。

（要望事項）

道路の補修や舗装等について

（検討結果）担当：建設課

毎年、各地区より道路の補修や舗装、排水等について多くの要望が寄せられています。

村道については、安全走行の確保と利便性の向上を図るため、常に道路パトロールを行って早急な対応に取り組んでいますが、損傷度や緊急性を確認のうえ、村内全体での優先度を考慮しながら、適正な整備と維持管理に努めていきます。

また、国道と道道に係る要望については、道路を管理する国や北海道に対して要請していきます。

（要望事項）

公共施設等のエアコン設置の計画について

（検討結果）担当：総務課、管理課

鶴居中学校については、改修工事においてすでに設置済みとなっており、鶴居小学校、下幌呂小学校は今年度中に整備することとなっております。役場や総合センターについても今後、整備する方向で検討しています。

○支雪裡連合会

(要望事項)

村道支雪裡31号線の舗装について

(検討結果) 担当：建設課

当該路線の舗装については継続して要望されていますが、幹線道路である支雪裡原野線舗装補修の進捗状況等を考慮しながら、補修の実施時期を検討します。

それまでの間は、道路のひび割れや波打ちの箇所など部分補修を行います。

(要望事項)

コミュニティセンター周辺の携帯電話が繋がりにくいことについて

(検討結果) 担当：総務課

事業者に改善要望とコミュニティセンター建物内の受信環境の改善の対応を実施いたします。

○中久著呂実行組合

(要望事項)

久著呂川の護岸対策について

(検討結果) 担当：建設課

大雨等による増水で久著呂川の護岸が洗掘され、隣接する農地が年々削られていることから、毎年対応を求められています。村では、平成29年度から社会資本整備に位置付けて国や河川を管理する北海道に対して河岸補修の要請を続けており、引き続き早期対策に向けて要請していきます。

○下久著呂連合会

(要望事項)

村道岩井内線の補修について

(検討結果) 担当：建設課

岩井内線の道路のひび割れによる損傷箇所については部分的なクラック補修で対応していきますが、路面状態の悪い区間については、路面に舗装を重ねる部分的なオーバーレイ補修を検討していきます。

(要望事項)

久著呂川の底ざらい（浚渫）の継続について

(検討結果) 担当：建設課

久著呂川の土砂堆積による河川の上昇により、接続する明渠排水路の排水能力が低下することから、大雨などの際には隣接する農地が冠水する被害が発生しています。

平成27年度から河川を管理する北海道の事業により久著呂川の掘削工事（土砂除去）が実施されており、引き続き、工事を必要とする区間について事業の継続を要請していきます。

○下雪裡連合会

(要望事項)

道道53号わき防雪柵の新型化について

(検討結果) 担当：建設課

道道53号沿線には防雪柵が約1,400mの区間に設置されていますが、大型の農作業機械などが畑から道道に出る際に見通しが利かなくなるため、令和元年度から要望を受けています。

防雪柵は、雪害による交通障害を防ぐために必要であり、道路を管理する北海道では、格納式の新型に更新することは費用的に難しいこと

から、取付時期の調整や設置場所を変更する方法などで視距を確保することを検討しています。

村では、道道53号は交通量が多いことから、引き続き、早期の改善に向けて要望を続けていきます。

(要望事項)

どさんこ牧場、運動広場看板の整備について

(検討結果) 担当：産業振興課

看板設置による効果も検証し、撤去も含めて対応を検討します。

○上幌呂連合会

(要望事項)

上幌呂地域体育センター屋根の塗装について

(検討結果) 担当：社会教育課

上幌呂地域体育センターは、昭和57年の建設から43年が経過し、屋根の塗装が剥がれてサビなどが発生しているため、毎年地域から要望を受けています。村内の多くの公共施設は、昭和50年から60年代にかけて建設されており、同様に老朽化が進んでいることから、施設の状態や利用の状況などを確認のうえ、必要性や優先度を考慮しながら今後の対応について検討していきます。

(要望事項)

畑の中に集中する雨水などの排水対応について

(検討結果) 担当：産業振興課

施設周りの畑の排水を一か所の明渠排水で処理する形状から、特に昨今の大雨や融雪の時期に雨水などが集中して排水しきれず、施設内や畑に滞留するほか、多量の水を処理することで明渠排水や耕作道が洗掘され、農作業に支障を

来しています。

しかしながら、全体的な改修工事には多額の費用が発生し、補助事業を活用した場合でも受益者の負担が大きくなることから、抜本的な改善は難しい状況となっています。

当面の間は応急的な補修により対応していきます。

○下幌呂自治会

(要望事項)

避難所マニュアルの整備について

(検討結果) 担当：総務課

昨年7月に発生したカムチャッカ半島沖の地震による津波警報の発表により、釧路市内から多くの車両が下幌呂や鶴居市街に避難し、村も避難場所の開設などの対応を行いました。今後は、釧路市内からの避難者も想定した避難所の運営の在り方について、地域と連携しながらマニュアルの作成などに取り組んでいきます。

(要望事項)

夢の杜団地内の歩道及びそのほか通学路の舗装補修について

(検討結果) 担当：建設課

夢の杜団地から小学校までの通学路の歩道舗装については補修対応していきます。

夢の杜団地内の歩道の改善については、すでに改修されている部分以外を実施することとして実施年度も含め検討していきます。

(要望事項)

鶴居市街で開催される飲食付きイベント開催時の送迎バスの運行について

(検討結果) 担当：産業振興課

